

神戸のブティックシリーズ

This is Kobeを目指して

岸野恭久さん

△シンワ専務△



「昔の神戸が好き」と岸野さん

置いていっているのですが、来年三月にオープンする名谷店は全部の目的にかなうオールバルバースな生地を置くつもりです。カーテンやエプロンや、あるいは服になる生地。人々の生活が郊外型になるところという生活に密着した生地が求められるようです」

——ホームソウイニングはこれからますますはやっていくということですか。

「ブレタがどんなにはやつても決つしてホームソウイングと高級服のオーダーではなくならないと考えています。僕二年間パリにいたんです。十年前だつたのですがそこで感じたことは製品がファッショニ業界では最終的にリードしていくってことなんですね。その当時まだ日本は生地屋が花型だった。フランスでは製品が中心で普通の家庭の主婦の普段着はホームソウイニング、外出着にブレタという使いわけをしているんです。そして一部の層の人々がオートクチュールと」

——そういう製品中心志向を見てシンワにもブレタをおこうと考えられたのですか。

「いいえ、当時はまだやはりシンワは生地でと思ってましたし日本が製品中心になるには随分時間がかかると考えてたんですよ。ところが回転が早くて三、四年もするとブレタのブティックが花型となりました。で去年本店を改装したのでこの機会にと一階にブレタを置いています」

——フィンランドのアローラ、イタリアのギルダ・グレイなどとあまり日本に入ってきていないブランドですね

今さんちか店は生地、それもいわゆる高級服地だけを

久さんには神戸の町、ファッショニ、そしてこれからシンワについて伺う。

——一時ブレタが全盛でしたが、最近再びホームソウイニングが見直されきましたね。小物でもちょっとした服でも作つてしまおうと……。

「自分たちの手で作るということで、物に対する愛着が持てるでしょ。製品を買うだけという冷たい感じじやないのじやないでしようかね。

今さんちか店は生地、それもいわゆる高級服地だけを



左：本店二階ではオートクチュールを扱っている、岸野幸子さん（恭久さんのお母上）はデザイナー。かつてのハイカラ神戸っ子のお洒落を身につけておられる。
右上：本店一階アローラ、ギルダ・グレイ、ムーンス（伊）、アリエ・バリ（仏）のブレタのコーナー　右下：さんちか店



「ええ、有名ブランドというのは厭だつたんです。名前ではなくて本当にいい物をと考えました。アローラは実はイギリスの王室でも愛用されているので、型はシンプルなのですが素材に凝っていて天然繊維しか使っていないんです。それと、実際には着れなくても、ウインドウに飾つてあるのを見ているだけでも楽しいといつただけるものなど置いています」

「廣を出す服なんかそのようですね。でも日本の女性のファッショնも進んてきて、今はとてもまとまってきたんですね。

「これからは？　日本の女性へ一言アドバイスを」と思いますよ」

「第一に外国へのコンプレックスを捨てるべきです。洋服の原点はヨーロッパですがそれをそのまま日本に取り入れるという姿勢では日本のファッショնは育ちません。原点という意味ではヨーロッパファッショնは魅力ですが、昔の神戸っ子のファッショնも魅力だったと思うんですよね。今の四、五十年代以上の方がそういう神戸ファッショնを作つていらしたと思うんです。人と同じ物を着るのは厭だとか、同じ物を着のならさり気なくうんとうまく着こなしてやろうという心意気。神戸ファッショնというのはこれがそうだというのじやなくて、センスのある神戸っ子が着ているものが神戸ファッションだつたわけです」

「そういう粹な神戸っ子たちは減つてきましたが、ビルが並んでセンター街の持つていた神戸らしさも変わつてしましましたね。

「空間やゆとりの少ない店がふえてきました。だからこの本店は吹き抜けを作つて、木と石と煉瓦だけの“天然素材”をつかっているんです。かつてのいい意味の神戸の町にも一度戻したいですね。おくがましいかもしれないのですが、THIS IS KOBEというつもりで頑張つてきます」

5歳みみへのインタビュー

インタビュアー 小島 素治
フォトグラファー 堤 一朗



土曜日の午後は、いつも娘のみみを連れて東京競馬場に出掛ける。「むさしさかい」の駅から、西武玉川線に乗り継いで府中へ。「きょうていじょうまえ」を過ぎ、終着の「これまで」の駅に着いたのは、昼を少しほつてからだつた。

5レースには間に合わないが、6レースからはいける。

駅前の商店街と、田園のなかを往復する車線は、東京ではほとんど

考えられない素朴な日本の風景の
ひとつといえるだろう。

僕はこの電車が好きだ。それにし
ても、競艇と競馬のために走らせ
ているなんて、なんとも不思議な
気がする。

だから。
ふーん。

小島泰治さんは「ドレフサージ」編集長。
その独特の感性は知る人ぞ知る、という存
在で、現在は神戸と東京を往々帰り、活躍
中。

第7競走(発馬十四時)の出足の
頃、ピール片手の僕はスタンド前
で堤君の手の振るのを見つける。

堤一朗さんはエディトリアルファジション
カメラマンとして日本で五指に入るという光
れっ子。

僕 ここはどこ。

みみ 東京競馬場でしょ。

みみ どこの競馬場が好き。

みみ ここ。公園があるでしょ。

みみ バンダのすべり台があるで
しょ。

みみ 淀とか。その他ではどう。

みみ おばあちゃんの住んでる近
くの競馬場のこと。あんま
り。

みみ うん。話じは変るんだけど、
神戸についてのイメージづ
いてある。

みみ 何、なに!

みみ こうべのこと。

みみ ジムショウがあるでしょ。み
みの生まれたところ。

みみ 海とか船は。船に乗ったつ
け。

みみ 憶えてない。

僕 今日は写真を撮るんでホシ
星のオーバーオールで決め
てるじゃない。

みみ コーチヤン(僕のこと)が
決めたんじやない。ツツミ
さんが撮るの。

僕 うん。有名カメラマンなん

僕 ホラロイドカメラで仕掛け
を作ろうよ。

堤 どうゆうふうに。

僕 ゴール前では皆んなレース
に夢中だろう。僕とみみだ
けが反対の方に向いちやう

から、そこ撮つてよ。

僕 面白い、面白い、OKです。

みみ みみは幼稚園で何して遊ん
でるの。面白い。

みみ えーと、いろいろ面白い
よ。

僕 虫歯のこと先生が治しなさ
いって報告してきたよ。

みみ (黙つて気分を悪くしてい
る)

みみ さあ、いける。

みみちゃん! こっち向い
て! 駄目じやない。

僕 ゴール板を過ぎたよ。

★7月13日(木)～22日(水)

●ジョイント情報(7月)
バーンズバザール
期間中お手持ちショーズを下どりい
たします。どんなショーズでもOK。い
500円、1,000円、1,500円の
三段階の価格をその場でくじ引きでつ
けるというから面白い。また期間中、
3,000円以上お買い上げの人の中
から抽選で20名様を8月4日～8日与
論島にご招待いたします。

★同じく7月13日～22日
早朝ジヨギング大会を、毎朝7時か
らラジオ関西で。22日にはミニマラ
ソン大会を行ない、男の上位3名、女
子上位3名、マナーの良い人4名を与
論島にご招待。

★毎週土曜日
フレンドリイ
コンサートを開
演します。ご
自由にお立寄り
下さい。

三宮ジョイント
 JEANING LIFE
 三宮・ジョイント
 〒650-0045 兵庫県神戸市兵庫区三宮町丁目4番地
 TEL:078-321-0819
 TEL:078-422-4401
 千葉店
 ジョイント千葉にも上陸!
 ダイエー千葉店3F





メリーピックフォードのこと

淀川 長治

(映画評論家)

五月二十九日。サンタモニカの病院で死去。八十六才。二十五日自宅の彼女の部屋で意識を失っているのを夫のチャールズが発見してあわてて入院させたと報じられた。夫のチャールズはチャールズ・パッディ・ロジャースと呼んだ、バラマウントの青春スターの一人であった。青春スターというのは一九二七年(昭和二年)ごろバラマウントはリチャード・アーレンをその第一号そして第二号がパッディ・ロジャース第三号がゲーリー・クーパーつまりこの一、二、三はすでに当時の売り出しの人気順でクーパーが一番新人というその一九二七年前後この三人をバラマウントの三羽がらすと呼んでこの三人の作品をどんどん製作した。のちにアーレンはアル中となり最後にはさびしいわき役に落ちたがクーパーは輝けるスターになりロジャースは一九三六年、彼の三十二才のときに四十三才のメリーピックフォードと結婚し十七才の今日にいたるまでずっとメリーピックフォードの夫としての人生を送ってきた。今はアーレンもクーパーも死去した。

メリーは一九一〇年にオーエン・ムーアと結婚した。十七才のときである。オーエン・ムーアにはトムとマットという兄弟があり三人ともサイレント時代の人気スターでアイルランド系のこの三人まゆ毛の濃く美男子揃いであったが、とくにトムとマットがのちに有名となつた。オーエンはアル中になり、この夫と別れたメリーは一九一九年、二十六才のときに当時的大スターのダグラ

ス・フェアバンクスと結婚した。ダグラスにはすでにそのとき妻もあり八才になる息子もいたのだが、二人は結婚した。この二人の結婚はあたかも、のちのあのヴィヴィアン・ライとオリヴィエのスター夫婦の人気と同じように戦界の大きなニュースとなつた。ところが、やがて彼とも別れ一九三五年こんどは十一才年下のチャールズ・パッディ・ロジャースと結婚した。ところでこのパッディというこの青年スターのミドル・ネームは(お兄ちゃん)とか(いい仲間)という意味なので、それでこの青年スターのムードがおわかりかと思う。坊ちゃん青年の上品さがあった。メリーと結婚してからは映画界を引退しメリーのおかかえ亭主みたいな人生を送つてしまつて現在七十五才。

カナダ生れのメリーの父はオンタリオ湖の汽船会社の事務員だったがメリーの五才のときに亡くなり母はこれから生活に困つてしまつた。メリーには二つ年下のロティという妹と三つ年下のジヤックという弟がいた。そのとき母はまだ二十四才だった。メリーは生活のため巡業団に加わり、やがて九才のときにはその一座のスターになつて本名グラディス・スミス。この子役スターのころはベイビィ・グラディス。この巡業団のこの子役を見た有名なベラスコ劇団のデビッド・ベラスコが彼女をブロードウェイの桟舞台に立たせ、このときメリー・ピックフォードと芸名をつけた。この彼女を活動写真が始まつてもないころのグリフィス監督が認めて一九〇九年



「ドロシー・ヴァーノン」より



「ロジタ」より



「小公子」より

年(明治四十二年)日給一〇ドルで映画入りさせた。十六才の時である。さて一九〇九年から活動写真に出ていたということは活動写真の始まりから出ていたといつてもいいわけだ。リリアン・ギッシュもメリーアがグリフィスに紹介してやったのだし、チャップリンが初めて映画に出たのも五年あとの一九一四年。尾上松之助が活動写真に初めて出たのがメリーアとちょうど同じの明治四十二年だった。さてメリーア・ピックフォードの映画では「農場のレベッカ」「孤児の生涯」「シャボンの泡」「愛の燈明」「勝手口から」「小公子」「嵐の国のテス」「雀」などが日本で封切られた代表作だが、いつも少女役を演じているうちに三十才を迎える。そこでエルンスト・ルビッチというドイツの有名監督に頼んで「ロジタ」という色っぽい女の映画を作つたがこれは失敗だった。そのうちトーキー時代となり夫のダグラスと共に演のシェイクスピアの「じやじや馬馴らし」(一九二九)を作つたがやがて引退した。考えると人間は誰でも苦労の多い生涯を送るわけだ。

しかし彼女の一九二〇年代の人気たるやすごいもので全米市民から(アメリカのスィート・ハート)と呼ばれ、一九一九年にはチャップリンとダグラスと彼女とグリフィス監督の四人でユナイテッド・アーチスツ社を創立した。私は大正十二年(一九二三)に神戸で封切られた「シヤボンの泡」があまり楽しかったので勝写版にこの映画ストーリーをこまかく書いてそれをザラ紙にすつて神戸三中の友人たちに配つたことがあった。「雀」は神戸のキネマ俱楽部で見たがその追跡シーンの音楽伴奏までを今も覚えている。「嵐の国のテス」も漁村で彼女が他人の赤ちゃんを押しつけられてその泣く赤ん坊を抱いているところの夜景。空には三日月が美しく船の灯が波にゆれていたそのシーンでは(インディアン・ラメント)のヴァイオリン演奏だったことを記憶している。サイレント映画から音楽をしのぶというのも面白ることである。このメリーアの死はアメリカ映画第一頁にその歴史を残し、生けるスターは現実には消え去つたさびしさを受けた。

エ体自界 ピラピラ族

細川

董ただす
△文とえ／哲学者▽

今月は、久方ぶりにエッチ・ジュニア編さんによる幻の名典、「貝類図鑑」をひも解くといった体裁で、最近出逢ったピラピラ族を御紹介させていただきますぞ！

ハヒフヘホ……とページをめくって行くとヒの項の終りの方に、ピラピラ族が出てくる。

ピラピラ族とは、貝がらからはみ出しているピラピラの肉質部が巨大なる女類をいう。大きなピラピラ、小さいピラピラとピラピラにも二種類ある。

すなわち、大きいピラピラが巨大化したものと、小さいピラピラが巨大化したものの二種である。

貝殻からみ出した部分が、ピラピラに巨大化した女族の容貌上の特徴は、顔色はもとより体色まで、やや、しらけ色。ツヤに乏しく、ふやけ顔にて、如何にも機械も、さぞやたるみがちならんと想像に難くない。からだは筋肉質の反対で、ブヨブヨとやや太り気味。

顔は扁平必ずしも口は大きくないのを常とする。目細し。

大柄女に多し。

機械も巨大にて、いわゆる“大海にゴンボウ”を洗うのたぐいなれども、興奮し、エキサイティングし、エクスターに達するに及べば、ピラピラをまさにピラピラとあかえいの如くピラつかせて男の機械を込み込み、悩殺するところからピラピラ族と呼ばれる。

別名、アカエイ女と呼ばれるのもこの理由による。

*

*

*

最近、H先生がピラピラ女に出会ったのは、三宮のあるクラブでのことでした。エレベーターが止るともうそこはクラブの中でした。

入口もなければ、従つて出口もないエレベーターの入口兼出口が、即 クラブの入口兼出口なのです。

こんな大っぴらにアッスケな入口兼出口をもつたクラブで、ピラピラ族に出会うとはなかなか象徴的なことであります。クラブの名前もついでにピラピラとしておきましょう。

このクラブのマダムが実はピラピラ族だったのです。「あなたは大きい方、小さい方？いや大きい方だろうなあ？」

「ええ、私、大きいの。お分りになる？」

「やっぱりねえ」

「顔で分るんですか？」

「もちろん！」

「でも先生、私、何ていうのかしら。ピラーとたれてるの」

「大陰唇が？」

「そう。大か小か知らないけど」

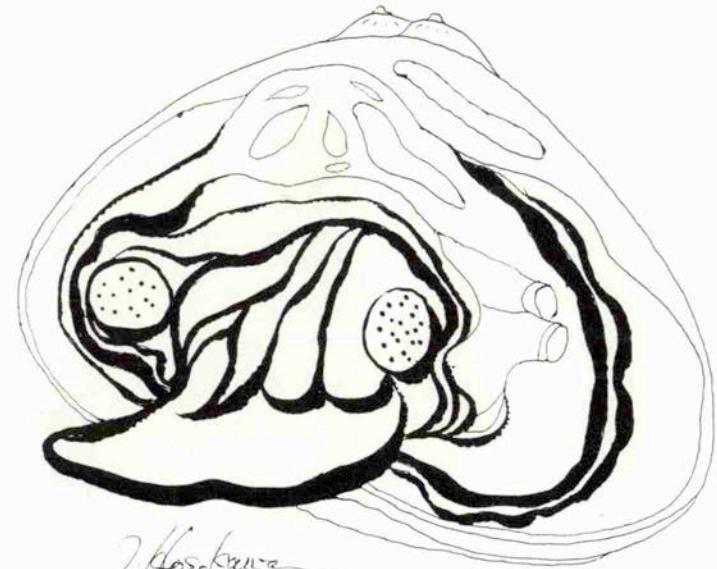
「それがピラピラ動くんだろ？」

「さあ。そんなこと私分らないわ」

「いや、きっと動くに違いない」

「ためてもいいの？ためさせてくれるの？」
「……だからいつてるじゃない。」自分でおためしあそ
ばせつて

「そんなに知りたかったら、ご自分でおためしになつた



江謙一さんのヨツトの
ようす、いうにいわれ
ぬ男のエクスタシーを存分に満喫したのでありました。

優雅に彼女を印象づけたことか！」
「後から、後から、大波のように打ちよせるヒダの攻撃に、さすがのエッチ・ジニニア氏もホーン岬を越える堀江謙一さんのヨツツの

あとは読者の想像におまかせする。

く普通なのが、彼女の場合は、それが三本になり、四本になり、驚くなかれ、五本になります。もうこうなればまよと、ズッボリ右手一本入つてしまつたといふ次第である。

なるほど、ご本人の
おっしゃる通り、一本

この店の特徴は戸棚に輸入元の46社よりなんと600本もの輸入酒が整然と陳列され、それらを百貨店売

ぴっと・いん



★六甲ブルーマウンテン

8周年記念サーキュイ

阪急六甲南側のブルーマ

ウンテンが8年目を迎えて

7月15日までボトルキープ

サービスをしている。石

阪春生画伯の素描画が並ん

でインテリアや雰囲気もそ

れに合ったネオ・クラシカ

ル調の洒落たサロン。

さてボトルキープのサー

ヴィスだが、オールド、ロバ

ートブランが2500円

の大奉仕。10台まで駐車可

能スペースのあるあたり、

いかにも六甲の店らしい。

阪急六甲駅南・八幡神社西通り

■861-15585

10AM~11PM無休

★暑い夏には冷やし

飲もう——本直し

「本直し」というお酒を

ご存知ですか? 甲南漬の

高嶋酒類食品が出している

が、以前は「柳かけ」とい

う名で知られ、これは古典

落語のなかにも登場する。

心から涼しそうなるや、と謳



「本直し」

構強く、氷を入れて、レモンの輪切りをそえ、ロックで飲むと暑さも吹つとぶ夏の酒。一・八ℓ入650円と値段も安い。甲南漬本舗本店で扱っている。

甲南漬本舗本店／阪神新在家駅下車

国道43号線山側 電話 841-0551

9:00AM~5:30PM無休

★洋酒党の方はぜひ一度

生田神社入口の輸入洋酒専門店の老舗「ふじや洋酒

店」が会員制の輸入洋酒俱

楽部「グラスゴー」をオープ

ンし会員の親睦を計る「グラスゴー会」も結成された。

ラスゴー会

★バックステージ満2才に
8百人が大集合

神戸の若者に人気のビアノホール「バックスステージ」が開店2周年。これを記念して去る5月22日、宮本直介、中山正治、高橋俊男、タミー高杉らの演奏者をゲストに迎えて、飲み放題、食べ放題、しかも無料の大

F ■078-392-0376



オーナー高部美良氏（右端）

割烹吉本が移転して三か月、古い日本家屋を生かした民芸的な雰囲気の店として好評を博している。1階は堀りごた式のカウンター、2階は大小の座敷席で、落ち着いて、腕によりをかけた日本料理の逸品が味わえる。

●神戸うまいもん

とドリンキング

割烹吉本

生田警察署西口前

割烹吉本が移転して三

か月、古い日本家屋を生

かした民芸的な雰囲気の

店として好評を博してい

る。1階は堀りごた式

のカウンター、2階は大

小の座敷席で、落ち着いて、腕によりをかけた日

本料理の逸品が味わえる。

この店の特徴は戸棚に輸入元の46社よりなんと600本もの輸入酒が整然と陳列され、それらを百貨店売



特に夏場には、材料を

ぜいたくに使つたはもず

し、一つ一つノミで彫つ

た氷鉢入りの茶そばが毎

年人気を呼んでおり、会

席料理の中の一品として

取り入れられている。

ご主人は、料理学校の

講師も勤め、店でも試食

会をやるなど、意欲的に

本格的な日本料理づくり

に取り組んでいる。

当店のうどんは
全く機械を使用せず
人力だけで作ります



名物 揚げたてのうどんに土しょうがと
花かつおの香り 揚たちうどん ￥420
名物 梅と花かつおの風味豊かな

梅花うどん ￥420

ざるうどん 380

うどん定食 480

お持ち帰りうどん

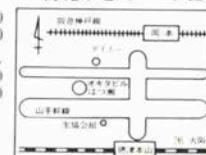
ざる土産 430

うどん玉 150

営業時間

11:00AM~8:00PM

毎週水曜日定休



手打ちうどん
はつ 激

神戸市東灘区岡本1丁目4-17 オギタビル味の町地下一階
TEL 078-411-9161

Left Alone
JULY 7, OPEN!

黒と白を基調としたモダンで
シンプルなインテリア
快いジャズサウンドが流れる中で
くつろいだひととき
おしゃれなジャズの店のデビューです

7月7日(土) 6:30PM
たなばたライブ

宮本直介クインテット+タミー高杉(VO)
3,000円(オードブル、ドリンクス付)

●ビッグ・ライブ●

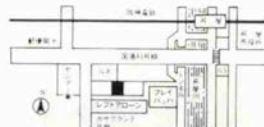
7月14日(土) 7:30PM 9:00PM 10:30PM

15日(日) 1:30PM 3:00PM

ウィスリー

(前田憲男(P)、猪俣猛(ds)、荒川康男(b))
3,000円(ワンドリンク付)

●
毎週末には関西で活躍をしているミュージシャンを中心にライブを、また、スペシャルゲストによるビッグ・ライブも企画しています。



カサグランデ芦屋 レフトアローン 芦屋市平田町1-38
TEL (0797) 34-0385
11:00AM~11:00PM

Hat dog



なんすい

軟水のCoffee 味、また格別。

営業時間 午前10時～翌午前2時



コーヒーハウス

ハットドック

バス停(中山手1丁目)南側角

☎ (078)321-1689

やつぱりうまい・むさしのとんかつ
ムサシ
とんかつ

Kobe・ミヤ

本店

三宮・センター街 TEL 321-0634

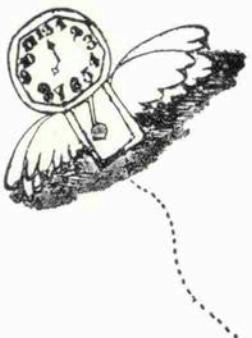
11:00AM～7:30PM毎水曜日休み

さんプラザ店

三宮・さんプラザB1 TEL 391-2427

11:30AM～8:30PM第1・3月曜日休み

神戸百店会
だより



★神戸百店会 “夏の集い”

有名専門店で構成されて

いる神戸百店会の夏の集いが6月5日(火)午後6時か

り育てる。④経済、産業の発展の起爆剤になるためにも、このボートピア'81は大事な催しである。私たちで参加して自分たちの博覧会やという気持ちで多くの市民参加を」と、熱っぽく

語られた。
尚、日月堂、山崎真珠、リザ
店、平山商会、オリエンタル
UCC、ホーテル、日高麦酒、インテリア
ラブ等で、渡辺洋服店、河南堂、北野大
本駒家、元の場所に

此圖由三一堂提供。大衛在拿撒勒的出生地。

トピア

日本料理・寿しの本成駒
家が仮店舗より、元の場所
三宮本通りに移転、新装才
一OPENした。昭和12年の創
業以来、新鮮な材料の神戸

‘81の進行状況とか構想、地元への呼びかけ」などの講演を開き、後、素晴らしい夜景を眺めながらの自由懇談となつた。

渡辺氏は「①ポートアイランドの存在を全世界に知らしめる。②神戸市民に夢を。③神戸らしい文化を守

では数少ない和食専門店としてごひいきのお客も多



浜野社長（左）と異国さん

く、浜野珂寸子社長と大阪で修業を積んだ長男の晃匡

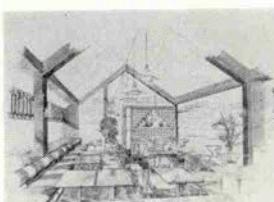
さんは「真心と味でより一層サービスに務めます」と意気込みも新たに…。設計

は武田則明さん。檜や石、
しつくい壁と料理と同様ホ
ンモノが使われ、イサム・

ノグチデザインの照明器具
がよく調和している。

本成駒家 331-3236

新築してオープン



新装なつた鳳月堂本山店
東神戸の話題になりそうです

神戸風月堂の直営として最古の本山店が、開店30周年を機に店舗を一新して6月21日新築オープンした。レンガ造りで、モダンクラシックのイメージは元町本店と統一し、一階の売場と二階の喫茶室という構成。

駅周辺の再開発が進んでいく本山・岡本界隈に新しいお菓子のホンモノが登場したということでこの界かいの人たちにはいい話。

東灘区本山北町3丁目11-2

●ショッピング

熱い歓迎の神戸の町をたんのうされた様子の宮永夫妻だった。

★ボクは、こうして

生まれてきたんだ

「ボク、どうして生まれて、ハタと困った経験をもつパペやママは案外と多い

もの。そういうパペやママが、子供たちと一緒に性の問題を考える手引きに、と

出版されたのが『きみがしゅじんこうのおはなし』(株式会社夢発行)。

幼児向けの性教育絵本だが、可愛い絵と分りやすい

文章とで、人間の誕生までのいきさつを解説したもの

「ボクは、こうして

生まれてきたんだ

「ボクは、こうして

生まれてきたんだ

「ボクは、こうして

生まれてきたんだ

「ボクは、こうして

生まれてきたんだ

「ボクは、こうして

生まれてきたんだ

近外国との間で民間の友好協会がいろいろ誕生している。神戸という街が

国際性というイメージを保つためにも非常に意義のあることだと思う。

花時計



ボランティアの心

ボートビア'81もいよいよ本格的に動きはじめた

そのためもあってか、最近外國との間で民間の友

好協会がいろいろ誕生し

ている。神戸という街が

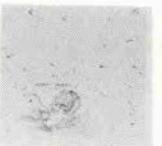
国際性というイメージを保つためにも非常に意義のあることだと思う。

い影を落としている。

△ Y V

「あくまで、子供たちが性の問題に興味をもったときに問題を解決するための手段」

本當のことをサラリと教えるための絵本」ということ



同書より

ステキなカレンダー

で出版され、好評だ。

なお、同書は書店では販売していないので、申し込みは、「斗夢」(大阪市南区安堂寺橋通2-1-28日宝船場ビル4F)まで。

また、ご希望の方10名様にプレゼント。月刊神戸「きみがしゅじんこうのおはなし」までハガキでお申込み下さい。締切6月30日。

ビル4F迄)までハガキでお申込み下さい。締切6月30日。

★「屋根の上のバイオリン弾き」のカレンダー

今年度下半期(7月~12月)の文化ホールのカレン

こんな民間の友好協会の動きは海外各国でも非常に盛んであり、日本での協会よりもはるかに強力だと聞いている。

元来、こういった協会が成立するためには、会員の構成メンバーのボランティア精神が發揮されなければならない。

ところが日本では、このボランティア的思考が非常に稀薄なために協会の成立が危ぶまれたり活動がふくなったりする

ア精神の活動から活力ある文化が生れてくるのだ

文化活動に参加するには必ずボランティア精神が要求されることを忘れてはならない。

★「屋根の上のバイオリン弾き」のカレンダー

会の催しの日にはマークがついて判りやすく表示しているのがミソ。写真は11月23・24日公演の森繁久弥主演の「屋根の上のバイオリン弾き」の舞台写真。カラーフィルム印刷、A2判。

希望者は文化ホールプレイヤガイドまで取りに行けば無料でもらえる。

先着10人迄。

海外では精神的活動にボランティア精神による奉仕は不可欠とされていて、キリスト教精神文化と強くつながっている。

戦後、日本人は経済優先、メリット主義に陥り深く心を侵されてしまつた。メリットなき事柄は悲観視さえされている。

さわやかなボランティア精神の活動から活力ある文化が生れてくるのだ

文化活動に参加するには必ずボランティア精神が要求されることを忘れてはならない。

●KOBE POST

★元町画廊へ佐藤廉主宰とは、今年60周年を迎えた記念企画が年内に次々と立てられています。7月は元永定正展、9月は7月10日に開かれ、10月末は山口牧生展、11月は良象人間五人展と、今迄の蓄積に、さらに重厚さとスケールをみて、神戸の美術に密着した企画。60年の歴史を持つ画廊にふさわしく、後半期の美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さとスケールをみて、神戸の美術に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題を呼びます。

★7月7日~8日と東門画廊で権忠

セルドフ

から一時帰国する西村功の作

奎二

を加えて開かれ、10月末は山

口牧生

展、11月は良象人間五人展

と、今迄の蓄積に、さらに重厚さ

とスケールをみて、神戸の美術

に密着した企画。60年の歴史を

持つ画廊にふさわしく、後半期の

美術界の話題

おかげ様で祥容庵は十周年を迎えました。

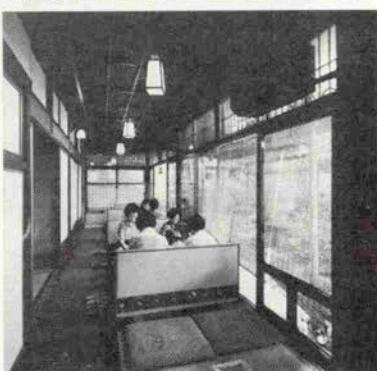
十年の歳月が夢のうちに過ぎたり、ここ祥容庵にお寄せいたいた御厚情に対し心より御礼を申し上げます。今、初心に帰り一層精進を続けたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

森田 容子

神戸・平野

祥容庵

〇〇七八(三六一)五四二



上は、祥容庵の正門。下左は二階座敷・下右は自然の中で一階棧敷。

ルポルタージュ

●知らない人の神戸／1

港から

・・・

蒼

カメラ／緒方しげを

竜

—

夕暮れの港にて

私はこのルポを港から始めることにした。と云うのは、一九六八年の冬、私の異国への旅立ちはまさしくこの港からなされる筈であった。それが、船に乗り遅れてしまい、急遽新幹線で船を追っかけ、横浜から乗船する

ことになった。そんなあわただしい思い出が、今度は逆にゆっくり港でも見物して来ようと云う気に、私をさせたのかも知れない。

春の一日、私は国鉄三宮駅で下車すると、あらかじめ



開いてきた観光センターへ行つて、港への道順を尋ねた。いとも無愛想な返事がかえつて来たが、愛想よくしなければならない何らの理由はない。私は教えられた通り、地下街をそこう百貨店側のバス停へ、道路をくぐつて、教えられた中突堤行きのバスを捲した。しかし、ワシマンカーの運転手は、今はもう中突堤行きのバスはなくなつたと云う。それでは、港に一番近い所で降ろしてくればと言つて、少し位なら歩くのもよからうとバスに乗つた。日本は本当に良い国である。たとえ女性が立つて居ようとも、男は何ら痛痒を感じたりすることなく、遠慮なしに座つていてよいのである。私は異国で酷い腹痛のために座つていて、立つていていた中年女性から男は立つべきであると露骨に言われた苦い経験がある。なぜこんなことを言うのかと言えば、さすが神戸で、バスに外人女性が二人乗り込んで来た時には、私は反射的に危うく立ちそうになつて、自分の足を辛うじて抑えたのである。日本本の男が無作法だと思われようとはあらん。『ローマにあつてはローマ人の如く為せ(郷に入つては郷に従え)』である。

私の内部に根ざしたこの異国感覚は、不意にバスに跳び込んで来た外人女性に触発されたことも多少はあるうが、それ以上に神戸の街の雰囲気そのものに惹き起こされたと言つた方があつていいよう。女性の平均寿命が、男性のそれを凌駕している限り、我々は立つ必要などは毛頭ないのである。

私はこのあたりで、読者に一言おことわりしておかねばならないことがある。神戸のルボは仰せつかつたものの、私は神戸については何も知らないのである。全く奇妙な程、知らないのである。

だから、所謂觀光案内のルボは神戸をよく知つた人にまかせて、私は極めて主觀的に、知らない人の神戸を追つてみたいと思うのである。しかし、私は神戸を知りたくないといふのではない。それどころか、一度知れば知るほど知りたくなる、まるで性悪女のような魅力をこの

街は持つてゐる。

神戸は不思議な街である。

南北に狭く、東西に長いこの街は、すべて港に向けて収斂して行くような印象を与える。

バスをおりた私は、ポートタワー目指して歩いて行く。亀井勝一郎の大古寺風物誌「ああ塔がみえる、塔がみえる」—そう思ったとき、その場で車をすてて、塔をめざしてまっすぐに歩いて行く。これが古寺巡礼の風情というものはなかなかうかと思う。」のような風情はない。塔は鋼鉄パイプを鼓型に組んだ百八メートーの無機質の建造物である。近代の塔はこのようにあらゆる情緒を拒否して立つていなければならぬのであろう。塔を見上げたり埠頭を歩いたりしているうちに、港めぐりの観光船が入港して來たので、私はあわてて切符を買ひに走つた。

船は、『ゆうかり』と云う冷暖房完備の新造船で、三月の中旬に完成したばかりだと云う。船は川崎重工の側を通り、バナナの荷揚げを専門にすると云う兵庫突堤から、三菱重工を右に見て、和田岬の手前で大きく迂回し、ポートアイランドのコンテナーベースに沿つて、神戸大橋へと向かう。このアーチ型の大橋は、昭和四十三年九月に着工して四十五年三月に竣工したと聞いた。三二メーターのこの橋には、上下あわせて八車線の車道があると云う。下から見あけると、この巨大な橋をわずか一年半の間に造りあげた人間の力が信じられないような気がする。

私がブラジルに居た一九七〇年頃、リオ・デ・ジャネイロから対岸のニテロイまで橋を架ける計画があつた。それまでも度々、政府は予算を計上したのだが、その度ごとに責任者の連中が、予算をボケツトに入れてしまつただから、橋はいつまでもその姿を現わさなかつた。ただ橋杭が、二、三本紺青の海上に頭をもたげたまま、いつまでも放置されていた。

その頃、その架橋工事の責任者であつた大統領の弟か

何かが、工事費のほとんどを私事に使ってしまったと云うことが、新聞に載っていた。

碧い海を私は舟で二度ほど渡ったが、あの澄んだ空気と余りにも美し過ぎる風光に接しては、橋などはもうどうでもよくなってしまうばかりか、どんな悪事でも自然に理解できてしまうから妙なものである。ところで、あの橋はもう出来あがっているであろうか。

私は最前から、何か物足りぬ気持を感じている。なにか変だ。何かが欠落しているのである。甲板に居て海を見ながら、海の上に居る気が、ちつともしない。なるほど、水の上にはねずみ色の巨大なタンカーがいて、お化けのような浮きドッグがあり、倉庫が見え、上屋が軒をつらねている。メリケン波止場にはハシケが廻らしと繋留されていて、タグボートは荷役のためのハシケを、幾つもひっぱって海上を行く。非常に活気にあふれてい。る。にもかかわらず、ここは海ではない。海に不可欠なあのむせるような磯の香りが、ちつともしないのだ。

神戸港の姉妹港だというシャトルを私は知っているが海辺の安宿は、寝室のベッドにまで磯の香が沁みこんでいた。男の血を騒がせる、なにか混沌たるヴァイオレンスがあった。あの強烈な海の臭いがない限り、海は自然としての像を結ばないのである。そして、人を根源的な不安に誘なう底知れぬ恐怖を藏していくいかぎり、海は牙をぬかれた狼となろう。そして何物にもまして、この港はもはや人工に飼いならされた、翔ぶことを忘れた鳥、ひたすら卵を産むことによって人間に益をもたらす、鳥卵を産み続ける優秀なる庭鳥なのかもしれぬ。

人工的に創り出されて、どこまでが自然でどこまでが人工なのか、はつきりした区別がもはやつかなくなってしまった精巧な庭鳥なのである。

私の海のイメージは、浜には魚貝類の死骸がころがり、海藻の腐敗した臭気が鼻をついたり、時には大波が白波

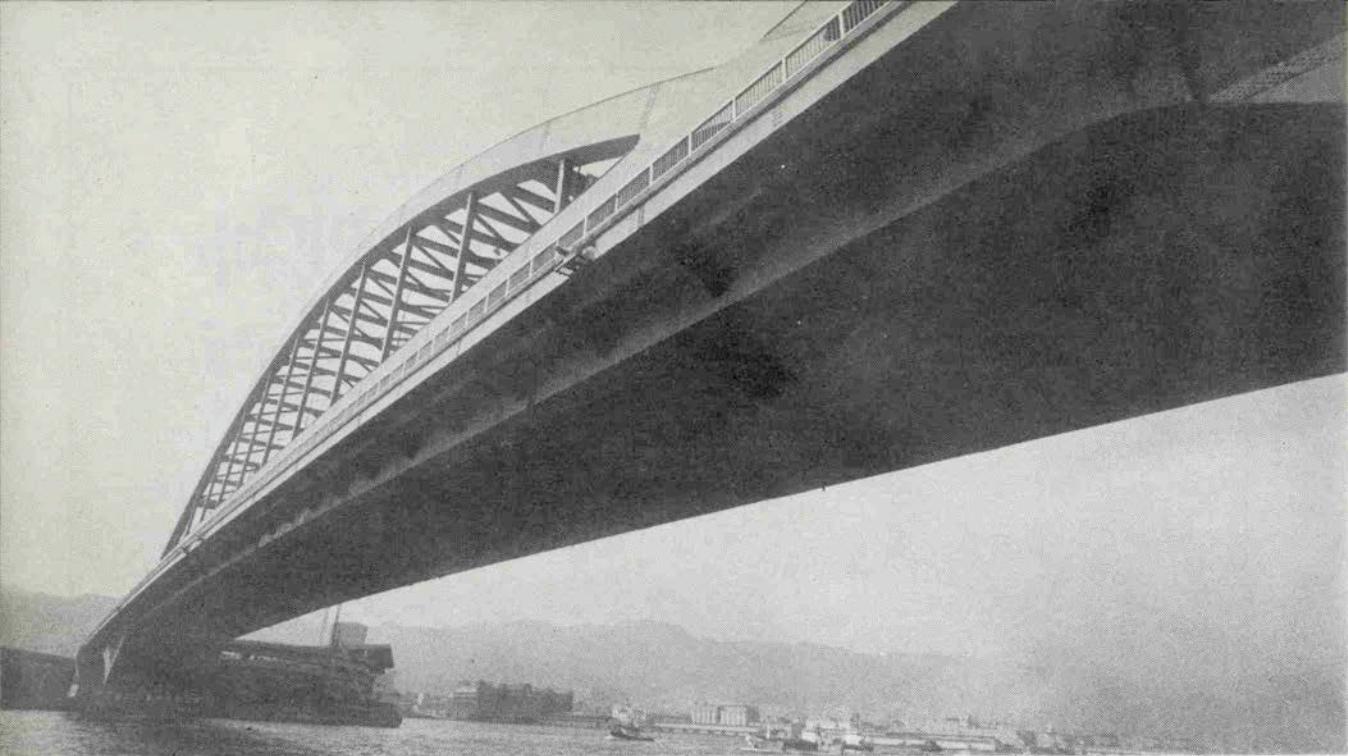
を蹴立てて迫つてくる、さらには人の生命まで脅かす不気味な存在である。今から十年余り前、私は太平洋をアルゼンチナ丸と云う移民船に乗つて渡った。約十八日間の航海中、私は毎日海と語り、海に思索すると云う日を過ごした。来る日も来る日も、海また海。一艘の小舟に遭う訳でない。

甲板に立つてぐるりと見渡す三百六十度、すべて紺青の世界。水平線は余りに近く、自分の足下に丸い円を描いていた。ために、キリスト教世界に生きる中世の人々が信じた如く、地球はお盆のようなもので、その涯は滝になつて水が落ちていると言われば、本氣で信じられそうな気がした。この時のことは、三年程後に、ラジルの七百町歩もある農場でトラクターに乗つて、自分が地球のいちばん地表を耕している、見渡すかぎり三百六十度すべて地平線と云う時に感じた"地球は丸い"と云う印象とともに、強く私の心に刻みこまれた。

その時以来、海の見える高台で、潮風に吹かれて土地を耕し、海に没する夕陽を眺めて食事をとる、そんな家に住みたいと云うのが、私の希望とはいつしかなかった。自分の認識世界の涯を見下ろしながら、地平線であれ水平線であれ、それは外界を統轄する内なる物の獲得であり、さらには内なる物を超えた外界への憧憬に生きることであろう。ここに生きる喜びに勝るものではなく、私にとって外的条件の一つが水平線を見おろす高台なる一軒の家。思えば神戸は、これまで私の夢想に時として現われる非現実の街であったのだ。

私は現在、海のない山に囲まれた奈良に住んで、あの山の向こうに何があるのかと自問する人の如く、海に向つて開いている人の気性と云うものを信じる。

船から降りた私は、ポートタワーに上つてみた。五月の連休にも再び私は港を訪れ塔に上つてているので、都合二度この塔に上つたことになる。三月の末に来た時は、カモメが水の上に白い紙クズのように浮かんでいた。



この巨大な橋をわずか1年半の間に造りあげた人間の力が信じられないような気がする（神戸大橋）

「カモメのジョナサン」はいなくとも、
「あひるのドナサン」（富士正晴の小説）
位は居るかもしれないと思って眺めた。
そのカモメも、今はシベリヤの空に消え
て跡形もない。

展望三階の喫茶に入る。前に来た折、
見落としていた個處である。

「回ってますね」と声を掛けると、黒子カクコのあるおばさんが、誰でも黒子はあるけど、思いがけなく「はいッ」と充実した返事をかえしてくれた。そんなおばさんは、最近の日本ではそう滅多にお目に掛かれるものではない。

こんな人を置いているだけあって、この喫茶は実に値段が安いのである。山なら百メーターも登れば、その分だけ飲み物の値段も上がるが、ここではその逆を行つている。

お客様は、だいたい一回転して来て席を立つのが、普通人間の習性と見たが、店の回転を早めるために、展望台の回転をはやめたりはしないそうである。時間を見計ると、一回転に要するのは、ほぼ十五分と四十秒であった。

自分の席が、喫茶のカウンターの前を通過する時ふと覗きこんだ調理台の奥の壁に、「六つの心」と題する貼り紙があつて、お陰様でと言う謙虚な心などと並んで、「はいと言ふ、素直な心」とありました。

日本のもと総理の「十の反省」と云うのと、どちらが前に出来たのか聞いてくることだけは忘れました。はいッ。

（次回はさんちかタウン）

神戸文学賞作品募集

小社は昭和五十一年創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動のいっそその発展のために微力を尽したいと願っております。第一回神戸文学賞は田靡新「島之内ブルース」、同女流文学賞は小倉弘子「ベットの背景」、第二回神戸文学賞は奥野忠昭「姥捨て」、吉峰正人「生活」の二作品（同女流文学賞は該当なし）、第三回神戸文学賞は蒼竜一「自由と正義の水たまり」、同女流文学賞は大原由記子「夢の消滅」に決まりました。ここに第四回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項

一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者に限ります。

一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。

一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品主題（創作主旨）をつけて下さい。

一、締切りは八月十五日（当日消印有効）

☆なお、選考は本誌が依頼した選考委員によつて行います。

一、入選発表は本誌昭和五十五年新年号誌上。同号より作品を掲載します。

一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。

一、入選作品の著作権は本誌に属します。

一、入選作品各一篇には副賞として賞金二拾万円が贈られます。

一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市生田区東町一一三の一大神ビル七階

月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。

電話〇七八一三三一一二三四六